

平成30年度事業報告

事業概要

当協会は、手足の不自由な子どもたちの豊かな生活を実現するため、公益目的事業として肢体不自由児の支援事業と肢体不自由児理解促進事業を行った。

支援事業としては、自立活動支援事業、地域活動支援事業、器具貸与事業により肢体不自由児の自立と社会参加を促す支援を行った。肢体不自由児理解促進事業では募金事業、ボランティア育成事業、交流事業、調査及び情報提供事業により、障がいのある人もない人もともに支えあいながら暮らせるよう障がい者への理解を求めた。

1 法人の運営

(1) 理事会の開催

- ア 第1回（通常）理事会
期 日 平成30年5月16日（水）
場 所 千葉県社会福祉センター 3F会議室
議 事 第1号議案 平成29年度事業報告（案）の承認について
第2号議案 平成29年度決算（案）の承認について
第3号議案 平成30年度第1回評議員会の開催について
報告事項 第1号 理事長及び業務執行理事の業務執行状況について
- イ 第2回（通常）理事会
期 日 平成31年3月6日（水）
場 所 千葉県社会福祉センター 4F②会議室
議 事 第1号議案 平成30年度事業計画（案）について
第2号議案 平成30年度予算（案）について
第3号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて
第4号議案 臨時評議員会開催の日程について
報告事項 第1号 理事長および執行理事の職務執行状況の報告について

(2) 評議員会の開催

- ア 定時評議員会
期 日 平成30年6月6日（水）
場 所 千葉県社会福祉センター 3F会議室
議 事 第1号議案 平成29年度事業報告（案）の承認について
第2号議案 平成29年度決算（案）の承認について
報告事項 第1号 理事長及び業務執行理事の職務執行の状況について
- イ 臨時評議員会
期 日 平成31年3月25日（月）
場 所 千葉県社会福祉センター 3F会議室
議 事 第1号議案 平成31年度事業計画（案）について
第2号議案 平成31年度予算（案）について
第3号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて
報告事項 第1号 理事長および業務執行理事の業務執行状況について

(3) 決算監査会の実施

- 期 日 平成30年4月26日（木）
場 所 千葉県社会福祉センター 3F会議室
監査人 監事 鈴木一郎 佐々木克朗
協会 横川事務局長 会計担当 高木主査 石井顧問税理士

2 肢体不自由児支援事業

(1) 自立活動支援事業

① ふれあい広場の実施

中学生以上の肢体不自由児者11名を対象に、毎月1回の社会体験学習を通じて、社会性の育成を図るとともに、ボランティアによる身体介護により自立を促した。

毎月第2土曜日

参加者 各月 障がい者 11名 ボランティア 16名
介助者 2名 職員 2名

ふれあい広場の活動内容

	ふれあい広場
4月	開校式・室内ゲーム
5月	買い物学習 蘇我アリオ
6月	ディズニーシー外出
7月	食材の勉強
8月	実施なし
9月	ちばポートタウンで買物
10月	電車で海浜幕張駅周辺散策
11月	千葉県美術館鑑賞
12月	交流クリスマス会
1月	もちつき・英会話
2月	ボランティア車いす研修
3月	モノレールで買物 ・ 終了式

② 療育キャンプの実施

日頃野外活動を楽しむ機会の少ない肢体不自由児が家族と離れて宿泊し、調理実習や、室内でのレクリエーション等の活動を通して自主性と社会性を高め、参加者同士の交流を深めた。また、2日目はマザー牧場にてショーやバーベキューを楽しんだ。

期 日 平成30年7月28日(土)～7月29日(日)

宿泊地 「ホテルポートプラザ千葉」

参加者 障がい者 9名 ボランティア 22名

ガールスカウト5名 職員他 計36名

③ 肢体不自由高校奨学金

県内に住む肢体不自由で高校在籍者6校9名に対し1人2万円の交付を行った。

- ・ 二松学舎大学附属柏高等学校
- ・ 中央学院高等学校
- ・ 千葉県立磯辺高等学校 各1名
- ・ 県立野田特別支援学校
- ・ 千葉敬愛高等学校
- ・ 県立松戸特別支援学校 各2名

3 社会参加活動支援事業

① 親子の旅の実施

日頃旅行する機会の少ない在宅肢体不自由児とその保護者を対象に日帰りのバス旅行を2回実施した。

期 日 平成30年8月26日(日)
見学等 リフト付きバスにて舞浜ホテルビュッフェと・NHKスタパーク見学
参加者 障がい者10名 付添い3名 ボランティア9名
職員 2名 計24名

期 日 平成30年 9月30日(日)
見学等 リフト付バスにて舞浜ホテルビュッフェ
参加者 障がい者9名 付添い10名 ボランティア5名
職員2名 計26名

4 療育相談事業

肢体不自由児の保護者からの療育についての相談,福祉サービス、情報提供などを協会事務局において行い、年間を通じて電話・メール・来訪による相談が合計103件あった。

5 車椅子・訓練器具の無償貸与事業

① 車椅子貸与

肢体不自由児の生活範囲を広げ、より活発に社会参加の機会を拡大するため申請のあった5名に車いす5台を貸与した。

② 緊急車いす貸与

健常な方で急なケガや病気などで一時的に車いすが必要となった8名に対し車いすを3ヶ月を上限に貸与した。なお、利用者は市役所、市社会福祉協議会からの紹介の方が半数以上だった。

③ 訓練機器の貸与

肢体不自由児が、障害の程度に応じて家庭において訓練ができるよう、医師の判定を受けた新規申請者30名、前年度からの継続貸与者50名、計80名に訓練器具を貸与した。

年齢別貸出人数(新規)

年齢別	人数
1～3歳	11
4～6歳	16
7～12歳	3
13歳～	0
合計	30

種類別貸台数

器具種別	台数	器具種別	台数
オルソチェア	1	PCウオーカー	26
わくわくいす	2	U型歩行器	1
フローシート	5	ポニーウオーカー	2
ポスキーバケット	0	SRCウオーカー	34
クッションチェア	9		
		合計	80

新規申請者主な通院医療関係機関

千葉リハビリテーションセンター 19(名)
君津中央病院 3
東京女子医科大学附属
八千代医療センター 3
順天堂大学医学部附属順天堂医院 1
その他 4

新規申請者主な市町村

千葉市 7(名)
市川市 5
八千代市 4
船橋市 2
市原市 2
その他 10

6 肢体不自由児に対する理解促進及情報提供事業

① 絵はがき等頒布運動事業

「手足の不自由な子どもを育てる運動」期間を中心に、「友情の絵はがき」（日肢協作成）、チーバククリアファイル、チーバくんシール（当協会作成）を活用して募金活動を行った。全県下の小中学校、盲聾特別支援学校の児童生徒・職員、官公庁・団体・企業等に広く働きかけ、肢体不自由児に対する理解と認識を深めた。

募金協力数（絵はがき・クリアファイル・シール）

対象	友情のはがき	チーバくんシール	チーバくんファイル
小中学校	4,216	11,385	23,455
その他	410	2,978	10,002
合計	4,626	14,363	33,457

② 手をつなぐ作品展

県内小中高等学校と特別支援学校、盲聾学校の児童生徒が、作品を通じて相互理解を深めることを目的として、作文を募集したところ、作文116点の応募があった。審査会を経て優秀作品を選考し、表彰式を平成30年12月9日（日）に県社会福祉センターで行った。さらに、優秀作品については「作品集」を作成して関係学校等に配布した。

③ 広報活動

協会の機関紙として、「ともしび」を年2回（5月、2月）発行し、関係機関等に配布することにより協会の事業内容をPRするとともに、肢体不自由児に対する理解を深めることに努力した。

④ 福祉の広場開催

福祉に関する様々な情報提供を目的とした「福祉の広場」を千葉県社会福祉センターにて11月26日（日）開催した。各会場にわかれて、訓練器具や生活用品の展示や専門家による相談コーナー、ボランティアによるゲームコーナーなどを開設した。

7 バリアフリー情報提供事業

県内の観光施設・公共施設・娯楽施設などのバリアフリー度を調査し、ホームページで紹介する。これにより、県民の方々にも障がい者への理解を深めてもらう。現在紹介店舗・施設数 123店

8・障害者就労意欲向上支援事業

① ふれあいサロン（就労意欲向上支援事業）

年11回、第3日曜日の午前10時～15時に、特別支援学校高等部卒業生を中心に障がい者の就職や生活相談などに関する悩みを傾聴したり、就労意欲を高めてもらうため、アドバイザーが個別のカウセリングやグループディスカッションを行った。

参加者（延べ人数）障がい者70名 アドバイザー26名 ボランティア18名
就労にむけての障がい者本人・アドバイザーへの研修会実施

障がい者が自活していくために必要な知識を得る為、障がい者本人への自活とアドバイザーへのフォローアップをはかった。

また、専門家の立場から障がい者の自立と就労について研修会を行い、指導を仰いだ。
平成30年9月①6日行政書士による「成年後見人制度」についての講習会を開催（総勢16名参加）

・平成30年12月16日 車いすも利用できるエアロビクスダンス講習会を開催。講師 千葉県エアロビクス連盟（総勢26名参加）

② 職場体験実習生受け入れ事業

一般就労の事務職の現場を体験実習するため協会事務所にて職場体験実習生の受け入れを行った。これにより、自己能力の再確認や社会参加の足がかりとなるよう、特別支援学校高等部の生徒の面談と指導を行った。

また、一般就労をめざす高等部の生徒等2名の職場体験実習生の受け入れに加え、特別支援学校の教師の職場実習の受入を行った。

実習生 県立香取特別支援学校 教師1名（実習期間2日間）

卒業生2名（実習期間4日間）

進路指導教諭との面談等 県立桜が丘特別支援学校

③ パソコン教室の開催

一般就労を目指している障がい者の為にスキルアップの場を設ける為 月1回、その人にあったパソコンの個別指導を行った。なお指導はボランティアの会会員が行った。受講者延べ24名

9 肢体不自由児に対するボランティアを育成する事業

在宅肢体不自由児の社会参加と自立を支援するため、協会行事への介助活動や派遣活動を実施した。

① ボランティアの育成と資質向上を目的に、車いす介助の研修を随時行うとともに「ふれあい広場」等の当協会事業で実践をしてもらった。

② 毎月実施した「ふれあい広場」、「ふれあいサロン」へ、延べ203名のボランティアが参加し介助支援を行った。

③ 本会で実施する各種行事や関係施設行事にボランティア延べ70名が参加し、介助支援等を行った。

④ 外出派遣ボランティアの申請を受け、26名のボランティアの派遣・紹介を行った。

⑤ 神奈川県肢体不自由児協会が主催する福祉おもちゃ「スイッチコム」講習会に職員とボランティア会員1名参加した。

・平成30年度	ボランティアの会	登録者数	
	社会人	男 8名	女 9名
	学生	男 14名	女 14名
			合計 45名

1 0 地域や関連団体への催し参加

ガールスカウト千葉市協議会主催の催しに参加(5月 11月)
会場に「車いす体験コーナー」を開設し、来場者に車いす介助の指導を行った。
また、バザー品等の販売を行った。

社会福祉法人愛光の秋祭りに出店し、ゲームコーナーやバザー品の販売を行った。

1 1 その他

① 高額寄付者・団体およびボランティア功労者への感謝状贈呈

平成31年3月25日(月)県社会福祉センター会議室において、高額寄付者・団体・感謝状の贈呈を行い肢体不自由児の理解促進に努めた。

② 東京ディズニーリゾートへの招待

(株)京葉銀行の御好意により、肢体不自由児と家族30組を東京ディズニーリゾートに招待した。